

「症状」でわかる病気 No.10

「胃がもたれる」、「食欲不振」

平山洋二・胃腸病院院長
宮崎滋・東京通信病院内科主任医長

病気予防は、第一に日常の健康管理、次いで「丹羽SOD様食品」

健康の管理には、病気に関する知識が欠かせません。本シリーズでは、さまざまな症状と病気との関連を掲載し、読者の方が適切な治療の機会を逸することなく、早期の精密検査をするための資料を提供いたします。なお、本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載（医学ジャーナリスト・松井宏夫著）」から主に引用いたしました。

また、食生活や運動などの健康管理だけでは、さまざまな病気を予防できないことも事実です。そこで、病気の90%に関係するといわれる活性酸素対策に、「丹羽SOD様食品」を摂取するの一方策です。

日本SOD研究会がおとどけする
健康増進と病気・老化予防のQ&A

No. 34



Q：「胃がもたれたり、胃が重くなる」と「胃アトニー」や「胃下垂」の関係について説明をしてください。

A：「胃がもたれる、胃が重い。これは、食べた物は胃から十二指腸へとかゆ状に消化されて押し出されるが、その点で時間がかかりすぎるため、胃がもたれる。」

胃腸の専門医、胃腸病院（東京・新宿区）の平山洋二院長（53は次のようにいう）。

Q：「胃アトニー（緊張力の低下）」の状態です。この状態を胃アトニーといい、よく問題になるのは胃下垂。ただ、胃下垂は胃袋が垂れさが

このQ&Aは、病気の90%に関係するといわれる活性酸素、活性酸素を除去する丹羽SOD様食品など、さまざまな症状や疾患について、最新の情報を掲載しています。定期的に発行されますので、毎号お集めになりますと、健康管理ノートができます。このQ&Aは、最寄りの丹羽SOD様食品取扱店でお求めになれます。

「胃アトニー」と胃下垂
その治療方法は？
「体重減少」と消化器系癌
用語の解説
胃と便秘
神経性食欲不振症

「胃アトニー」と胃下垂
その治療方法は？
「体重減少」と消化器系癌
用語の解説
胃と便秘
神経性食欲不振症

が、大病を見逃さない方法である。

胃下垂(胃が骨盤まで低下)

食道から胃につながるころの噴門部はごくあたりまえの位置にあるが、それ以降の胃がグーンとさがり、骨盤の中にまで入り込んでいます。「実際、胃下垂といっても、症状のない人がほとんどで、これに胃アトニーが加わって症状がでてくるのです。」

Q「胃アトニー」や「胃下垂」の場合、どのような治療法がありますか？

A 胃アトニーでは胃がもたれる、食欲不振、げっぷがでるなどの症状がでる。こういった症状はその状態によってさまざま。なかにはめまい、立ちくらみといった自律神経系の症状までも出てくるケースもある。

「そういった不定愁訴に対して、患者さん自身がそれほど苦痛に思っていないければ、別段治療する必要はありません。しかし、こういった人は、このままでは大変なことになるといふように不安を抱いています。病気ではないということを理解させ、不安を取り除くだけでも効果があります。

す。精神面をリラックスさせるのに精神安定剤を使ってみるのも効果があります。」

胃下垂、胃アトニーの人の生活改善としては、胃下垂を気にしない、精神安定剤を使ってみるもののほか、



胃がもたれる

胃がもたれる、胃が重い、これは、食生活が乱れ、二日酔い、過度な飲酒、ストレス、運動不足、消化器系が弱っているため、胃がもたれる。

病気がない、適度な運動を

Advertisement for a book titled '病気がない、適度な運動を' (Appropriate exercise without illness). The text discusses the benefits of exercise for the digestive system and includes a testimonial from a doctor, Dr. Kojima, about a patient with stomach issues who improved through exercise. The book is available at SOD Research Association.

適度の運動を行い、腹筋を強くするとともに空腹感をより感じるようにする。そして食事面で大事なものは、食が細いので、一日4〜5回に食事回数を増やし、カロリーの高いものを少しずつ食べるように心がける。

Q:「食欲不振」が続く場合、どのような点に注意したらよいのですか？

A:「食欲不振。患者さんが訴えられる症状の中では、これは最も多い症状の一つでしょう。それだけに、この症状一つから病気を絞り込むのは難しいといえます。ただ、この食欲不振が主な症状となって表れる病気としては、最も心配しなければならぬのは、消化器系の癌です。」

食欲不振。この症状で、東京通信病院(東京・千代田区)内科の宮崎滋主任医長(50)は消化器系の癌が最も恐いと指摘する。それも、「やせてくる状態が加わると、要注意」という。
Q: 体重減少と消化器系の癌について、事例で説明して下さい。

A: ビジネスマンのK男さん(46)は定期健診で肝機能障害を指摘されて病院へ。診察を受け、結果は肝脂肪だった。身長173センチ、体重80キロと、肥満気味とあって、運動をしながら少しダイエットをするよう指示された。

胃癌

K男さんは指示通り、まじめにダイエット。ところが周囲の人たちからやせ方が変だといわれ、6カ月後に再診した。K男さんは体重60キロに減少、体に精悍さがなく、すぐに精密検査が行われ、胃癌は胃癌でも胃全体が風船のように硬く膨らむ、極めて進行の早いスキルス胃癌だった。K男さんはダイエットがうまく功を奏していると思っていたものの、実は食欲不振を呈するスキルス胃癌が裏に隠れていたのである。

「普通の生活をしていての体重増減は、せいぜい月に2キロです。1カ月に5キロもやせたりするのは異常と考えるべき

です」。

「とにかく、消化器系では唯一の初期症状が食欲不振ということがありますので、十分に注意する必要があります」と、宮崎主任医長は注意を促す。

Q：食欲不振を招く場合は、他にどのような病気がありますか？

A：

糖尿病
また軽症の糖尿病患者にかかわらず、食欲不振で異常にやせるというので精密検査をすると、膵臓癌が発見されたケースもある。

肝硬変
このほか、慢性肝炎から肝硬変に進んでくると食欲は減退するし、

心不全
気付かないうちに心筋梗塞を起こしている軽い心不全状態でも食欲不振は表れる。

神経性食欲不振

うつ病

さらにストレス過剰時代の今日では「生活環境、ストレス・精神的要因も考える」必要がある。神経性食欲不振症のほかにも、うつ状態による食欲不振も……。

本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載(医学ジャーナリスト・松井宏夫著)」から主に引用いたしました。同誌には、健康に関する記事が連載されています。関心がある方は一読をお薦めいたします。

SOD様食品の開発者・丹羽勲負博士のプロフィール

昭和37年、京都大学医学部卒業。医学博士。丹羽免疫研究所所長。土佐清水病院院長。活性酸素とSODの研究を臨床家として国内はもちろん、世界的にも最も早くから(1970年代から)手掛け、この分野の研究の世界的権威。SODなどの生体防御の研究論文が“Blood”を始めとする著名な英文国際医学雑誌に続けて発表され、その数は50編を超えます。国際医学専門誌(Biochemical Pharmacology)への投稿論文の審査員もしています。



国内では、ベーチェット病やリウマチ、アトピー性皮膚炎の治療・研究に長年従事し、多くの難病の原因を活性酸素の異常から解明し、これら難病の治療に関して、SOD様作用食品等の低分子抗酸化剤や抗癌剤を自然の植物・穀物より開発し、大きな治療効果を上げています。

一般向けの著書に「激増 活性酸素が死を招く」(日本テレビ刊)、「クスリで病気は治らない」(みき書房刊)、「アトピーがぐんぐん良くなる本」(日本テレビ刊)などがあり、大きな反響を得ています。



命と健康のために SODロイヤル

SODロイヤル(丹羽SOD様食品)は、丹羽博士が長年をかけて開発した、天然の植物・種子を素材にした天然製剤で、副作用などの心配は皆無の健康食品です。

国際製法特許取得

用語の解説

胃と便秘

便秘といえは大腸と結びつけて考えるのがごく自然。しかし、実は便秘が胃にまでも影響を及ぼしている。胃と腸は消化管としてつながって、上部から下部へと波打つような蠕動（ぜんどう）運動で内容物を押し出していく。が、先が詰まっているとそれがうまくいかず胃腸全体のリズムが狂ってしまう。頑固な便秘の場合は、下剤を使っても便秘を治し、正しい胃腸のリズムを取り戻すことが大事。

神経性食欲不振症

食欲不振には消化器疾患などが原因で起こる器質性食欲不振と、精神神経性食欲不振の二つに大別できる。

精神神経面での代表的な病気としては神経性食欲不振症がある。思春期の女性に多く、精神的問題を契機にして発症する。症状は食欲不振を代表に、異常なやせ、さらには月経不順から月経が止まってしまう。最近では小学生、中学生にも見られるようになってきた。

丹羽博士の著書

丹羽博士の、一般向けの著書の一部を紹介いたします。活性酸素と病気、SODについて、平易に書かれています。

- 「激増 活性酸素が死を招く」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトピーがぐんぐん良くなる本」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトピー99%治療の証明」(日本テレビ放送網(株))
- 「丹羽博士の正しい『アトピー』の知識」(廣済堂(株))
- 「SOD製剤が癌治療に革命を起こす」(廣済堂(株))
- 「クスリで病気は治らない」(みき書房(株))
- 「活性酸素で死なないための食事学」(廣済堂(株))



バックナンバーについて
日本SOD研究会では、これまでに発行した「Q&A」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。
ご希望の方は、最寄りの取扱店または、日本SOD研究会
までご連絡ください。

SOD-IST (ソディスト) は丹羽療法における疾病治療・予防を目的とした患者さんや愛用者の方々の体験から生まれました。まさに治療が偶然見つけた素肌への贈り物です。SOD様ナチュラルフーズ・SOD様ナチュラルクリーム・天然の低刺激粹練石鹸の組合せにより“体の内部・外部から美を養う”をコンセプトに誕生したのが丹羽SOD美容法[SOD-IST]です。



[当商品には合成着色料・合成保存料は使用していません]

お問い合わせ先

製造・発売元
株式会社フジ流通システム
埼玉県富士見市鶴馬3489-1